

平成27年度 北海道立生涯学習推進センター研修事業
生涯学習推進基本講座【道東会場】事業報告

I 事業の概要

研修テーマ 現代的な課題や地域課題等に対応した生涯学習・社会教育の推進について
～ 持続可能な地域づくりのために社会教育としてできること ～

- 1 趣 旨 人づくりと地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備としての計画策定・評価及び事業企画に関する基本的・実務的な知識や技術などについて理解を深める。
- 2 主 催 北海道立生涯学習推進センター
北海道社会教育主事会協議会（釧路管内社会教育主事会）
- 3 協 力 北海道教育庁釧路教育局
- 4 期 日 平成27年 7月 9日（木）
- 5 会 場 釧路市生涯学習センターまなぼっと（釧路市幣舞町4番28号）
- 6 参加対象 市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員（社会教育委員、生涯学習審議会委員など）、生涯学習関連施設（児童館、勤労青少年センターなど）職員、青少年教育施設職員等
30名
- 7 参加状況 44名（社会教育関係職員 36名、社会教育関係職員以外 8名）
- 8 日 程

9:30 9:45		10:45		12:00 13:00		14:45 15:00		16:00	
受付	開 会	講 義	研究協議① (地域の存続に向けて自分たちが できることを考える)	昼食 休憩	研究協議② (地域の存続に向けた取組と それを進めるための方策の検討)	情 報 提 供	個 別 相 談	解 散	

※ 個別相談について（希望制）
推進センター職員が、市町村の生涯学習・社会教育の推進に関わる中・長期計画策定等の個別相談に応じた。



9 活動の概要

- (1) 講義「本道の生涯学習・社会教育の推進に向けた取組の方向性」
 【講師】北海道立生涯学習推進センター主査 本田 憲 司
 【内容】生涯学習・社会教育に関する国や道の動向について、法令や答申を交えながら、生涯学習・社会教育を推進する意義や役割を確認するとともに、第3次北海道生涯学習推進基本構想を基に、道の推進する生涯学習の取組の方向性とその必要性について説明



講義の様子
 本道の生涯学習・社会教育
 の推進に向けた取組

- (2) 研究協議①「『地域の存続』をテーマに自分たちができることを考える」
 【ファシリテーター】北海道立生涯学習推進センター主査 會 田 大 祐
 【内容】「地域の存続」をテーマに、道民意識調査で「できれば今と同じ市町村に住んでいたい」と回答した人が、なぜ、その地域に住んでいたいのかを協議し、その理由を考察



研究協議の様子
 ①地域の存続をテーマに自分たち
 ができることを考える
 ②地域の存続に向けた取組とそれ
 を進めるための方策の検討

- 研究協議②「地域の存続に向けた取組とそれを進めるための方策の検討」
 【ファシリテーター】北海道立生涯学習推進センター主査 會 田 大 祐
 【内容】「地域の存続」をテーマに、研究協議①で考察した「地域を好きになる人」を育成するためにできることを協議し、各地域での実践に向けた取組について整理



情報提供の様子

- (3) 情報提供
 【情報提供者】釧路教育局教育支援課社会教育指導班主査 清 水 秀 紀
 【内容】道教委の推進する事業及び釧路教育局（社会教育指導班）の取組について説明



個別相談の様子

- (4) 個別相談（希望制）
 【対応】北海道立生涯学習推進センター主査 會 田 大 祐
 " 本 田 憲 司
 【内容】

浜中町	社会教育中期計画の策定について
釧路町	魅力ある事業の組み立て方とボランティアの拡充について
標津町	社会教育計画に策定おける手順等について
えりも町	社会教育中期計画策定のポイントと進め方について



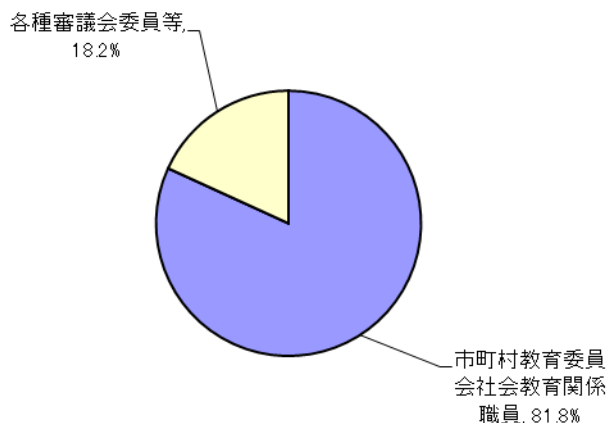
Ⅱ 事業の満足度

1 本講座参加者数 44名

(内訳) 社会教育関係職員の参加者数 36名 (81.8%)
社会教育関係職員以外の参加者数 8名 (18.2%)

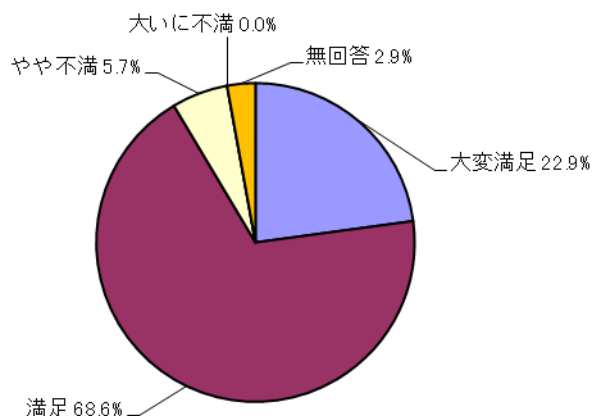
2 アンケート対象者数 44名 回答者数 35名 (回収率 79.5%)

参加者(所属)状況



3 講座全体をとおして

総合満足度	大変満足・満足 91.5%
-------	------------------

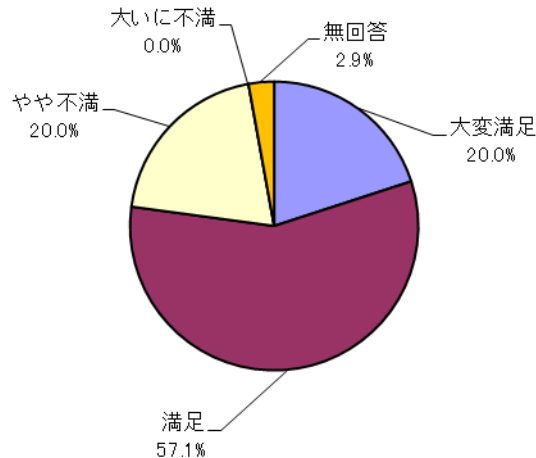


【参加者の主な声】

- 社会教育に関わってから日が短く、勉強になることが多かった。
- 他市町村の職員とグループワークにより交流ができた。
- グループに分かれ、ワークシートによる課題解決に取り組む方法(協議)がよかった。
- いろいろ考えることが多かったが、意見交流がたくさんあり、充実していてよかった。
- 他市町村の実際の取組や、多角的にいろいろな考え方に触れられたことがよかった。
- 研究協議のテーマが意見の出しやすいテーマだったことがよかった。
- 基本的な知識を一から学べるよい機会であり、様々な意見を聞くことで視野を広げることができた。
- 時間配分もよく、楽しく参加することができた。
- 今後の取組に役立てることができそうだった。
- 地域の存続のために必要な取組を学ぶことができた。
- 他の人の意見等を聞いて大変勉強になったが、午後からの協議が少し難しかった。
- 今の自分には事例や実務に関する研修が必要と思っていたので、研修内容が欲するものではなかった。

4 研修プログラムの内容について

(1) 講義「本道の生涯学習・社会教育の推進に向けた取組の方向性」

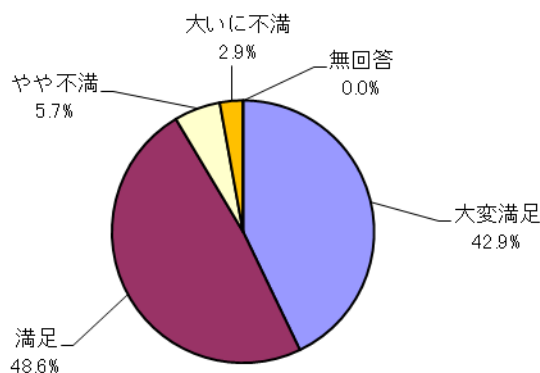


【参加者の主な声】

- 生涯学習・社会教育について改めて考えることができた。
- 何を目的にし、何を目指して社会教育に関わればよいかを教えていただいた。
- 経験が浅いことから、基本的なことが聞けたことがよかった。
- 改めて、法律や答申について学ぶことができた。
- 自分の住む町に、今回の講義を生かしていけたらよいと思った。
- 基礎知識を学べたことがよかった。
- 手元に資料があったので集中して話を聞くことができた。
- 経験年数の短い参加者も多く、基本から話を聞けたことは有効であった。
- もう少し詳しく聞きたい点もあったが、国・道の取組が大変よくわかった。
- 具体的な事例等はなかったが、生涯学習・社会教育や家庭教育についての国や道の方針等が理解できた。
- パワーポイントの資料が手元にあるとよかった。
- 法律等の説明が多く、理解が難しかった。
- 改めて基礎的な話を聞いて良かった部分もあったが、全道社会教育主事等研修会と似た部分もあり、少し残念だった。

(2) 研究協議①「『地域の存続』をテーマに自分たちができることを考える」

②「地域の存続に向けた取組とそれを進めるための方策の検討」

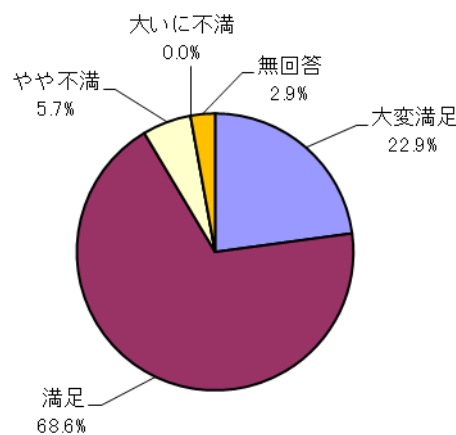


【参加者の主な声】

- 地域を好きな理由を、いろいろな人の様々な視点で聞くことができ、勉強になった。
- 自分で考えたことを基に、協議できたことがよかった。

- 様々な角度から問題をとらえ、いろいろな考えを聞くことができた。
- 課題を見つけ、解決方法を考えるために、グループで話し合ったことが、意見の幅の広がりにつながった。
- 大きなテーマだと感じたが、社会教育としてやるべきことがあると認識することができた。
- どの自治体にも当てはまる課題で、参考になった。
- それぞれの地域に共通するテーマに対して、様々な考え方を知ることができ、貴重な機会となった。
- 長時間、有意義な話し合い（議論）をすることができ、よい結論が得られた。
- いろいろな気付きを得ることができた。やはり社会教育委員は地域を知る上で大きな存在だと感じた。
- 具体的な組み立て方で議論がしやすかった。これからの学習の参考になった。
- 人口減少問題が各市町村レベルでも取り組まなければならない問題として認識することができ、社会教育で対応すべき視点を確認できた。
- 他市町村の方と話すことで、同じ悩みを共有でき、ヒントも得ることができた。
- 他市町村の方との意見交流によって、これからの活動に役立てられそうなことがイメージできた。
- 協議の成果に対するプレッシャーを強く感じた。
- やや難しい内容であり、基本的な内容をお願いしたい。

4 研修講座の運営について



【参加者の主な声】

- 進行の仕方と無理にまとめない方法がよかった。
- スムーズな運営でよかった。
- 年齢も丁度よく離れていて議論もしやすく、グループ分けがよかった。
- 話のしやすいテーマ設定であった。
- 協議の時間を多く設定したことがよかった。いろいろな意見がでたことで勉強になった。
- 道立生涯学習推進センターや、教育局の方の話が聞けるのがとてもよかった。
- 研修日程が長くて大変だった。
- スムーズな運営でよかったのですが、わかりづらかった。

5 その他、本講座をとおして気づいた点

【参加者の主な声】

- 話し合う時間が多かったので満足できた。「時間が足りなくて…」ということにならず、話し合う課題と時間の調和がとれていた。
- 充実した講座だった。
- 少し難しかったですが、講義だけでなくよかった。大変勉強になった。
- 社会教育委員などの住民と学ぶことは重要だと感じた。住民の方が参加しやすい工夫が必要と感じた。（一般の方は終日参加が難しいので…）
- 短い時間でまとめるのは難しいことから、企画の特異分野（スポーツ・歴史・郷土学習など）で分かれての研修でもよかったのではないかと感じた。
- 良い事、悪い事含め、取組のヒントにつながればと思っているので、他地域の取組も教えて欲しかった。

6 今後の要望等

【参加者の主な声】

- ・地域別にこのような機会があると参加できてよい。引き続きお願いしたい。
- ・フェイスブックなどのSNSの利活用に関する研修があるとよい。
- ・人口がどんどん少なくなっていくので、このような研修の中身を充実させてほしい。
- ・地域でなかなか招聘できない方の講演をお願いしたい。